

KANAGAWA



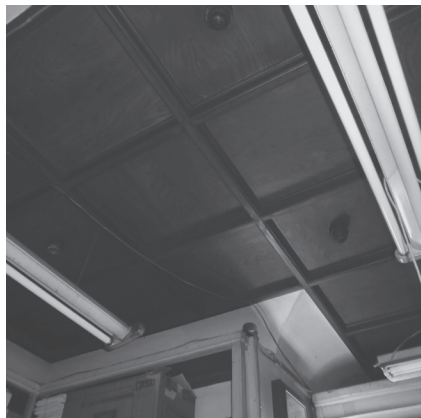
社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2011 年
2 月号

VOL.352



HP情報

- 国土交通大臣に建築基準法見直し検討会とりまとめの着実な履行について要望しました
- 神奈川県建築基準条例の一部改正について
- 茅ヶ崎市建築基準条例
- 茅ヶ崎市屋外広告物条例
- 茅ヶ崎市景観条例の一部を改正する条例
- 住宅・建築物耐震化緊急支援事業の第2回募集の開始について
- 学校施設における非構造部材の耐震化の推進について



目次

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ① 建築探訪 | ⑪ シリーズ グローバリゼーションの世界をめざして |
| ③ 神奈川建築コンクール 神事協賞受賞作品（住宅部門） | ⑫ 委員会報告
委員会活動報告
タウンビュー |
| ④ 会員建築作品紹介 | ⑬ 広報情報委員会発NEWS
旅のクイズ
2月の行事予定 |
| ⑤ 三会合同賀詞交歓会 開催報告 | ⑭ 事務局便り
編集後記 |
| ⑥ 行政からのお知らせ
シリーズ 今更聞けないQ & A | |
| ⑦ シリーズ ぶらり街並み散策 | |
| ⑨ 会員の広場 | |
| ⑩ 知って得する木造住宅の知識（11） | |

平坂の我が家

横須賀支部 寺坂 良明

「平坂」何とも奇妙な名の坂が横須賀市の中心地に存在する。名とは似ても似つかぬ急な坂だ。名前の由来は定かでないが、震災の後道を広げ、上を削り下を埋めて勾配を矯正したということで、大正の頃までは更に急な坂であったようだ。坂下に押し屋と呼ばれる者達がたむろしていて、荷車や人力車が来ると後ろを押して押し賃を稼いでいたという。「坂を上り詰めた処に共用の井戸があり、登ってきた人たちのささやかな潤いとなっていた。」という年寄りが何人かいた。今は我が家の井戸となっている。

♪～急な坂道駆け上ったら、今も海が見えるでしょうか～♪と歌う山口百恵の「横須賀ストーリー」に出てくるのは、彼女が通っていた市立不入斗中学校の位置からして、この坂をイメージして作詞されたと思う。残念ながら今はも

商店等を強制疎開させ取り壊した為、それに拍車をかけた。地元では上部地域を上町（うわまち）、下部地域を下町（したまち）と呼んでいる。



平坂を見る

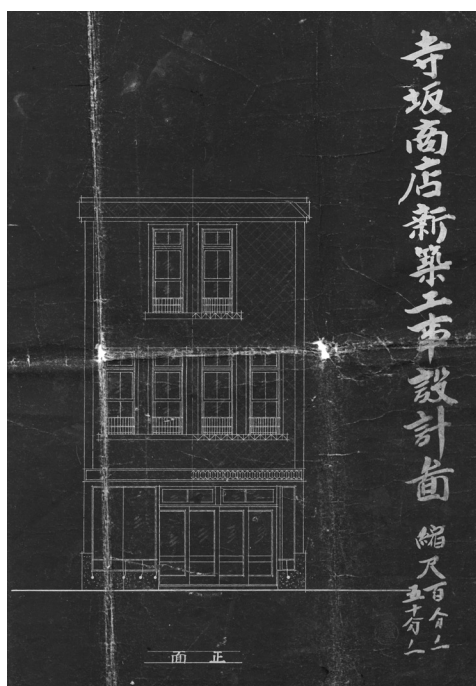
う海は見えないが。私が子供のころまではここは切り通しで、坂の上からその間に東京湾の海や猿島が見え、夏には正面に花火の大輪がよく眺められた。時の流れとともに坂の両側、下に中高層の建物が建ち始め、ついに海を塗りつぶしてしまった。昭和5年に坂下に湘南電気鉄道（現京急）の横須賀中央駅が出来てから徐々にこの坂を境に下方が商業地域、上方が文教、住宅地域との様子が出来上がってきた。戦時中、火災の類焼を防ぐ都市計画で、坂の途中にある



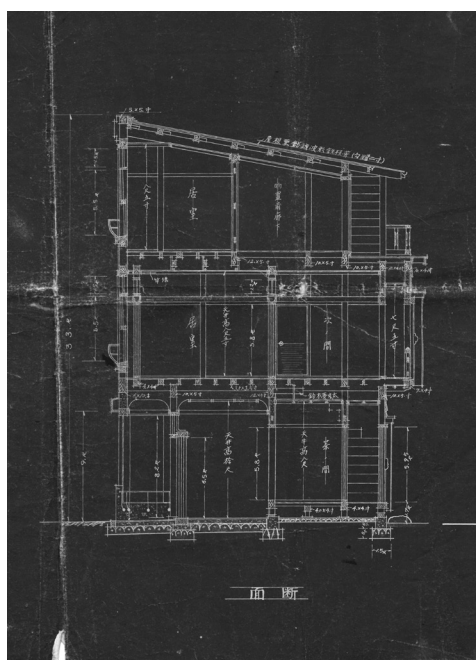
昔の写真

この坂を登りきった左側にわたしの生家がある。祖父、父と二代に亘って靴商を営んできた家だ。維新の後、横須賀製鉄所が建設され、当時の日本では一番活気のある町であったこの地に、横浜から移り住んだ。赤穂四十七士の末席、寺坂吉右衛門縁の子孫と言い伝えられてきており、近年、高輪泉岳寺に拠点を持つ（財）中央義士会の会員となっている。四十七士の子孫または縁の深い者のみしか会員になれないと言う厳格な会という。この建物は昭和七年に建築された木造3階建ての店舗兼用住宅（床面積約延34坪）で、当時流行した看板建築となっている。正面外壁を屋根上まで伸ばしたパラペットとし、屋根は後方へ片流れで、外壁は銅板こはぜ張りにしている。建物正面は洋風の上げ下げ窓がシンメトリーに配置されていた。通し柱は4寸角の洋材で、当時としては珍しい輸入材だったという。設計を陸軍の建築技師に依頼したとの事で、青図が現存する。震災後まだ数年しか経たない頃だが、未だ筋かいは無く、火打ち梁が採用されているのが興味深い。1階店舗（現在事務所として使用）にアールシックい縁どった格天井が当時の面影を残している。

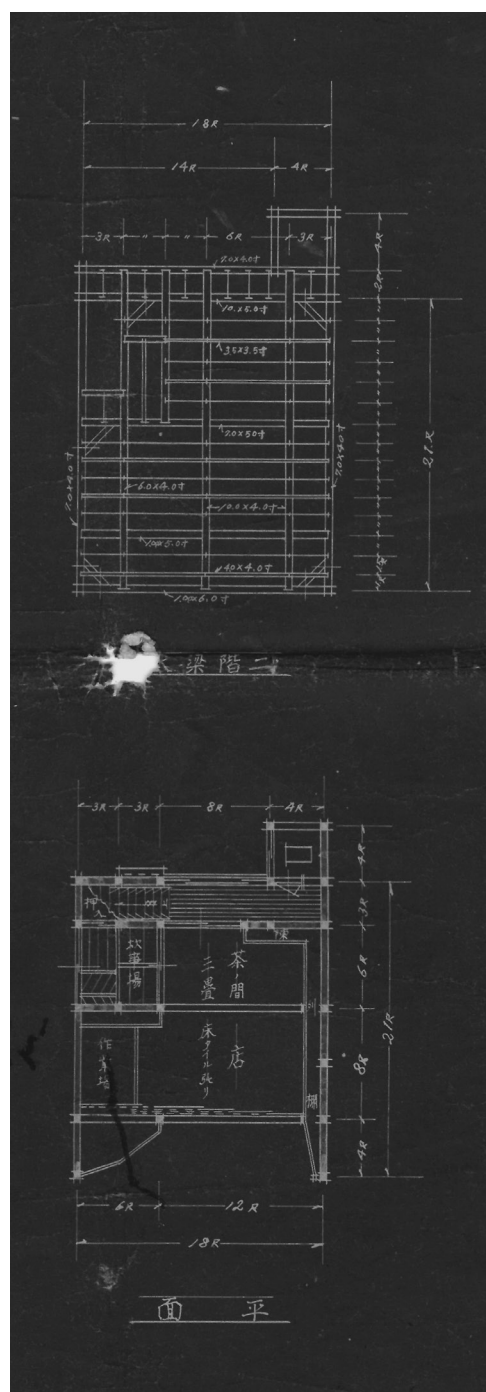
この坂の上で浦賀道が横切っている。浦賀と六浦を結ぶ、途中十三峠と呼ばれる難所を持つ昔の主要道だ。黒船を伝える浦賀奉行所の早馬が駆け抜けたのだろうか。坂を上っていく左の崖上では、縄文人の骨が発掘されている。縄文時代から悠久の時の流れと、幕末からの著しい変化、これから先の変わり様をこの坂はどう見ていくのだろうか。



正面図



断面



1階平面図・2階伏図

神奈川建築コンクール 住宅部門

神奈川県建築士事務所協会賞

『富士見町の家』

建築主：長坂紀子

設計者：長坂大 /Mega

施工者：大同工業株式会社湘南本店

真夏の日差しの中、降りた車越しに「その住宅」は建っていた、書類選考では写真の為現地審査を楽しみにしていた作品でもある。この住宅は設計者のお母様が生活されている住宅で

な外観を見せている。

玄関を入ると、室内は外部とは異なり木を存分に使用した暖かい空間が広がっている。居間、ダイニングそしてキッチンへと空の空間が続い

て行く、壁側には棚、カウンターが備わっている。2階も空の暖かいプライベート空間である、コンパクトに計画されたこの建物は、設計者のお母様への暖かい思いが感じられる作品であった。

素材の表情の豊かさ、雨水からはじまる水の循環システムの中への住宅の位置づけなど随所に見られる住宅でした。

(厚木支部 吉川 昭)



ある。雨にもっと親しみをもてるような水の流れにすることを設計のテーマにしたという作品であった。折半を梁間方向に流し雨だれが部屋の中から見ることができる。（残念なことに当日は晴天であった） 外壁にはサイディングを素板のまま貼っている、外観上は無機質な建物である。しかしながら、建物は見事に計算された綺麗なエレベーションで、2階部分から1階へと続く折半の大屋根と道路側から見える1階部分の素板のサイディングが素敵



撮影者 上田 宏

会員建築作品紹介

「S眼科医院」

横須賀支部 増田 務

平成20年8月にある人の紹介で、S眼科医院の内装設計を依頼されました。

当時、トツカーナはまだ基礎工事中で、内装監理室から渡された区画の図面？はポンチ絵に等しく、外装やP S位置、正確な設備機器位置も不確定でその中で先行、先行で基本設計をまとめるのは大変でした。

プランは医院とコンタクトを中心に眼鏡販売する店舗と隣り合わせで造られています。

眼科は患者さんが高齢の方が多いので比較的ゆったりとしたプランで、眼鏡店舗は小さいので、天井の高さを利用して収納を設置して有ります。

入口をはいると左側に受付のカウンターがあり、奥に待合室です。待合室と診察部分は扉等で区画をしなければなりませんが、今回はオープンで使いたい事を説明して、横浜市の了解を貰っています。右側は眼鏡販売店舗でガラス（ブラインド付）越しに互いに見通しできる様になっています。限られたスペースでまた、避難用の入口は変更できず再開発ビルの中の店舗設計はやり難いと感じました。内装工事期間は少なく、また諸制約は多く、そんな中竣工を間に合わせてくれたサブコンさんに感謝いたします。





平成 23 年 三会合同賀詞交歓会 開催報告

広報情報委員会

今年で2回目となる(社)神奈川県建築士事務所協会、(社)神奈川県建築士会、(社)日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会による三会合同賀詞交歓会が、去る平成23年1月21日(金)に横浜駅西口のホテルキャメロットジャパンにて開催されました。そして、今年は毎年持ち回りとなっている幹事を当事務所協会が務めました。

5 芝当会副会長による司会進行のもと、大和綾瀬支部相原聡会員によるNHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』の主題歌「Stand Alone」と神奈川の合唱曲「ふるさとの風になりたい」の歌唱にて開会となりました。上原会長は賀詞挨拶に続き設計業界の結束と質の向上を訴えました。来賓の方々のご挨拶として田島信二県議会議長、木村謙蔵県議会建設常任委員長に続き、上部団体(社)日事連三栖会長は建築士法の必要性和成立を目指す決意を語られました。そして当協会顧問の甘利明衆議院議員よりご祝辞を戴きました。続いて来賓の方々の紹介があり、(社)日

本建築家協会JIA神奈川地域会森岡代表の乾杯のご発声にて祝宴が始まりました。祝宴では会員同士や他会の会員の方々そして賛助会員の方々と懇談を通じ交流を深められていたかと思えます。

そして祝宴も半ばにさしかかった頃、相原会員による県民歌「光あらたに」歌唱の中、松沢成文神奈川県知事が到着され、不況だからこそ建築士の知恵と力が必要だと、ありがたい励ましの言葉を戴きました。楽しい時間もあっという間。定刻になり、(社)神奈川県建築士会藤田会長の中締めでめでたくお開きになりました。

今回は三会あわせて会員132名、賛助会87名、来賓44名の合計263名の方々にご出席下さいました。その後は名残惜しい会員約50数名が、段取り上手の川崎支部折笠会員計らいの二次会へと向かい、小川名誉会長の乾杯で語り足りない呑み足りないうっぷんを晴らすべく、大いに飲み大いに語らい夜が更けていきした。



神奈川県では、「神奈川県条例の見直しに関する要綱」に基づき神奈川県建築基準条例の見直しを行った結果、条例制定時から社会状況が大きく変化し、現在では適用することが不適当な条文や用語の削除・修正を、また、現在、神奈川県建築基準法施行細則で定めている道路基準の一部を条例の基準に位置付ける改正を行いました。

1 改正の内容

(1)規定の削除（第18条関係、第45条関係）

共同住宅における共同炊事場の設置義務等の規定及び公衆浴場の直上・直下の床等に関する規定を削除する。

(2)規定の追加（第52条の17の2関係）

事業者自らが築造して特定行政庁の指定を受ける道路（位置指定道路）の区域の標示に係る技術基準を追加する。

(3)用語等の削除・修正(第31条、第32条、第37条及び第51条関係)

現在では使用されなくなった用語等の削除や修正を行う。

2 改正条例

改正条例（新旧対照表）は神奈川県ホームページでご覧下さい。

アドレス：<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kentikusido/kenchiku/joureikisoku/20101228.html>

シリーズ 今更聞けないQ&A

Q：事の言い様に「甲乙付け難い」とあったり、契約書などで当事者たちを（甲）、（乙）、（丙）などと良く使います。日常生活に何気なく入ってくる漢字ですが、その後の（丁）迄は知っていますが、その後は何と続くのでしょうか。又、甲乙丙・・・は何によってつけられたのですか。

A : まず答えから言いますと、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸

皆様のお手元に神宮館などの暦があると思いますが、その中に記しています。この十文字を十干（ジュッカン）と呼びますが、五行説（注1）と陰陽説（注2）に基づいた時間の単位なのです。読み方は、コウ・オツ・ヘイ・テイ・ポ・キ・コウ・シン・ジン・キ です。此の読み方の他にきのえ・きのと・ひのえ・ひのと・つちのえ・つちのと・かのえ・かのと・みずのえ・みずのと という読み方もあります。このえとは漢字で書くと兄（え）と弟（と）で陰陽説からきました。また最初のき・ひ・つち・か・みずは、漢字では木・火・土・金・水で五行説から名づけられました。そう知ってみると何かの折に聞いたことがあるような、見たことがあるような気がしますね。さて、子丑寅・・・を干支とよく言いますが、正確には十二支と言わなければなりません。何故ならば干支の干は先に述べた十干から来ているからです。従って正確な読み方は十干十二支で、これを縮めて干支と言ってしまったようです。

ところで、当誌の新年号にも年男・年女特集に何人か元気な還暦の仲間が載っていましたが、六十歳になると良くお祝いをしますね。それは十干と十二支の最小公倍数である60から来た縁起の数字なのです。もともと干支は数字の単位でしたので、かつて江戸時代は時間をその様に読んでいたことを覚えている方は多いでしょう。たとえば丑三つ時とかお八つとか、子の刻とか。長くなりましたが、もっと詳しくお知りになりたい方はお手元の暦をお読みください。

(注1) 五行説：世の中全ての物は、木・火・土・金・水（モク・カ・ド・ゴン・スイ）のいずれかで個性されている。木は水に、火は木に、土は火に、土は火に、金は土に、水は金にそれぞれ勝ち巡り巡っていくという考え方。中国の夏の禹王が唱えた説とのこと。ちなみにこれに月と日を加わると七曜になる。

(注2) 陰陽説：全てのものには表と裏があるという説で、兄は勢いが強く（陽）、弟は勢いが弱く（陰）をしめし中国最古の王の伏羲が唱えた説とのこと。

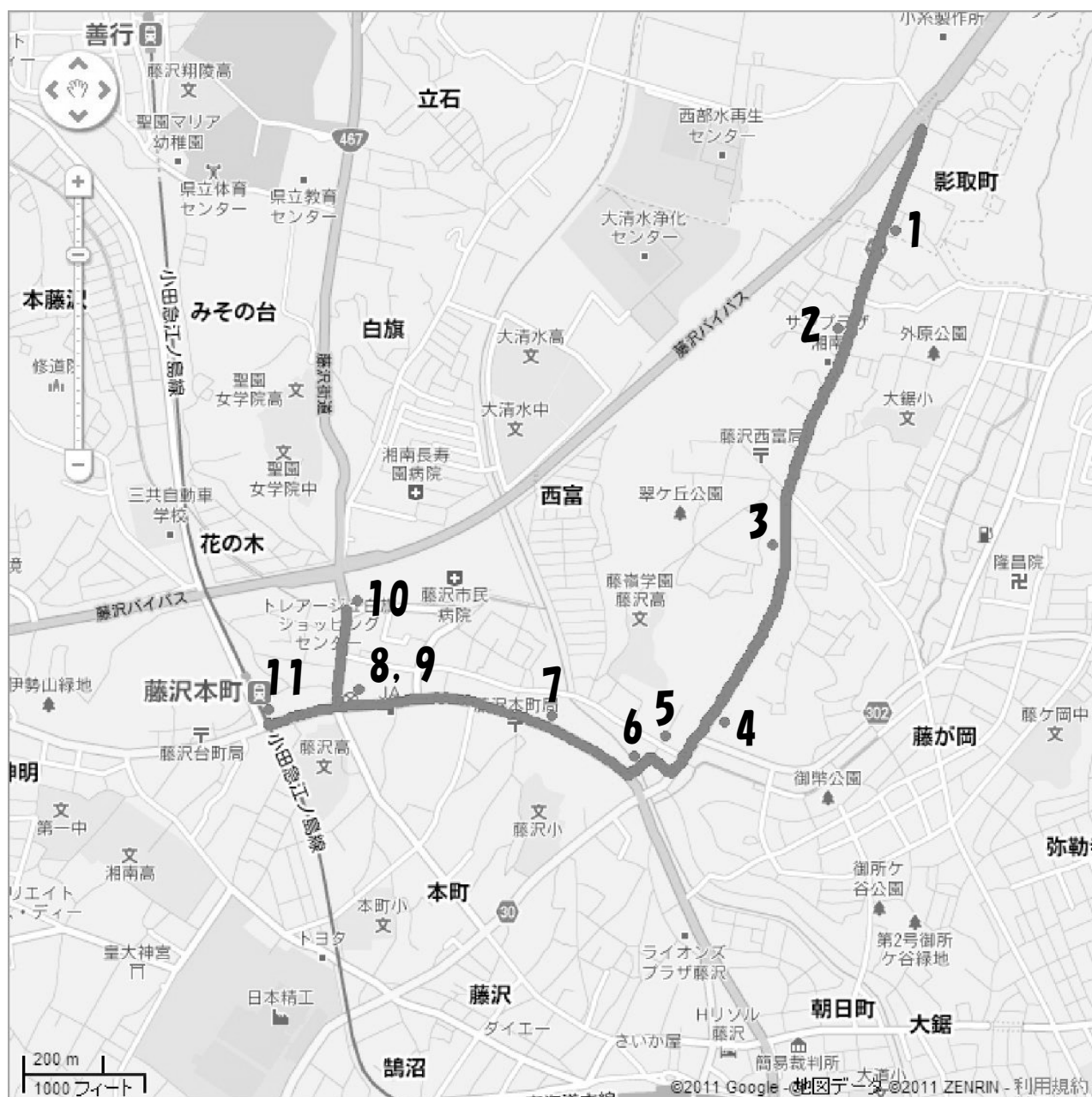
※ Qを募集致します。日頃、疑問に思われることなど神事協事務局までお寄せ下さい。

(FAX: 045-212-3807 E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

シリーズ

街並み散策ぶらり i n 神奈川

旧東海道 藤沢宿



旧東海道 藤沢宿

現在の遊行寺坂を下り、現在の藤沢橋を右へ曲がった辺り一帯が藤沢宿であったそうです。
本陣1、旅籠49軒で、江ノ島道や鎌倉道へ行く旅人の宿としても賑わっていたとのこと。

1



影取の由来となった大蛇を退治した鉄砲の名人が住みつけたことから鉄砲宿の名がついたとされる場所で説明の碑がある。

2



旧東海道の松並木跡の碑があります。安藤広重の描いた場所がここであるかは分かりませんが、1960年頃からの松喰虫の猛威により、大半が枯れてしまったそうです。



3



江戸幕府が設けた一里塚跡です。現在は何も残っておりませんが当時の旅程の目印として盛土をした丘の上に榎があったそうです。

4



全国各地にある諏訪神社 農耕の神、蚕業の神として祭られております。

5



遊行寺(時宗総本山 清浄光寺) 上杉、足利両軍の人馬供養の供養塔があります。両軍の死者を一箇所に吊られた場所としては最古のもの。

6



現在の遊行寺橋。安藤広重が描いた「藤澤宿」はこの付近から遊行寺方面をみて描いたとされています。

7



街道沿いに1軒だけ趣きのある建物がありました。「紙」と看板にありましたが、商店なのか住宅なのかは分かりませんでした。

8



旧東海道を意識しているのか派出所もこの様なデザインになっています。

8

9



派出所の路地を奥へ進むと「源義経首洗井戸」があります。腰越の浜に捨てられた義経の首が潮に乗り境川のぼって漂着したものを里人がすくい洗い清めた井戸とされています。

10



白旗神社、古くは寒川神社と呼ばれていたらしい。ここにも義経の言い伝えがあり腰越で弁慶の首と同時に首実検が行われたあと、この場所に首が飛んできたとのこと。

11



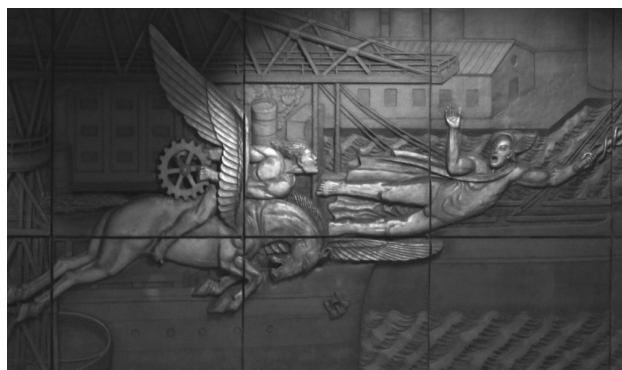
現在の小田急線 藤沢本町駅付近の橋です。この辺りが藤沢宿の終わりであったとされ、これより平塚宿へ向けて旅の始まりです。橋の名前は伊勢山橋です。

会員の広場

建築に情熱をかけた 中村順平先生

横須賀支部 若命 陽子

横浜市中区にある「みなとみらい線 馬車道駅」地下鉄構内に縦4m横50mにもおよぶ壁画彫刻がある。



馬車道駅 壁画彫刻作品 部分

横浜開港史と発展が象徴的に表現されている巨大壁画彫刻は、建築家中村順平先生の作品で製作は昭和35年・横浜銀行旧本店、営業室正面に飾られていた作品であった。その後「みなとみらい線」駅新設のため横浜銀行は平成5年に移築し壁画彫刻は馬車道駅構内に移転したものです。

中村順平先生は明治20年大阪に生まれ、昭和52年横浜本牧にて89才にして亡くなる。横浜文化賞受賞・日本芸術院賞受賞会員になる。

絵の得意な中村先生は最優秀で現在の名古屋工業大学を卒業。

曾根・中條設計事務所に入社。建築家中條精一郎の力添えによりフランスのエコール・デ・ボザールに留学した。パリの中心部セーヌ河沿いに当時世界中の建築家を集め不動の地位を誇る歴史ある芸術大学であった。16世紀イタリアに生まれ17世紀フランスで確立された考え、つまり絵画・彫



フランスのエコール・デ・ボザールの正面門

刻・建築を一般の技術職から切り離し芸術家として高い地位と権威を与えようとした教育であった。

レオナルド、ラファエルロ、やミケランジェロら巨匠達の伝統的様式を重んじアカデミー美学に由来した教育である。先生は最優秀で日本人で初めてフランス政府公認建築士の称号を得て帰国した。

しかし帰国後のフランスは革命により旧体制のアカデミーを廃止し変わった。今回冷静にアカデミーの残したものの存在を振り返ってみたい。

大正14年(1925年)帰国。現在の横浜国立大学工学部主任教授として迎えられた。先生は建築家であり熱烈な建築教育者であった。多数の優れた教え子を世に送り出した。

その後、中村建築教育で直接薫陶を受けた方々を中心に「桧の会」が発足。網戸武夫氏、神奈川県出身の松本陽一氏、吉原正氏、大西春雄氏、青木栄氏諸先生方が会の運営をおこない先生の遺品・遺作・復元するかたわら後輩の教育の為に年に4回の輪読会と春夏秋の見学会をしよう

された。輪読会のテキストは「建築という芸術」上下中村順平著者(相模書房)、「建築学総説篇・技術篇」中村順平著者(相模書房)でありました。

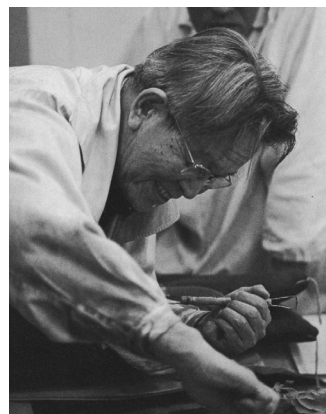
私は父と親友であり中村先生の愛弟子建築家青木栄先生のお誘いで仲間に入れて頂きました。

絵画壁面彫刻の大作は馬車道駅の他に山口銀行本店壁画・山口銀行名古屋支店壁画・京都祇園会館壁画・などあります。現在改修中のJR東京丸の内駅構内に昭和22年製作の、日本の名所旧跡や風俗が表現された壁面彫刻があり、会のメンバーが保存要望書を提出しています。

又中村順平先生の図面・建築図画・資料は大阪歴史博物館に寄贈、横浜の日本郵船歴史博物館などにも情報があります。

参考文献

情念の幾何学 網戸武夫(建築知識)
エコール・デ・ボザール その歴史と思想
三宅理一(鹿島出版)



中村順平作品製作中

知って得する木造住宅の知識 (11)

～住宅耐震改修の将来像は～

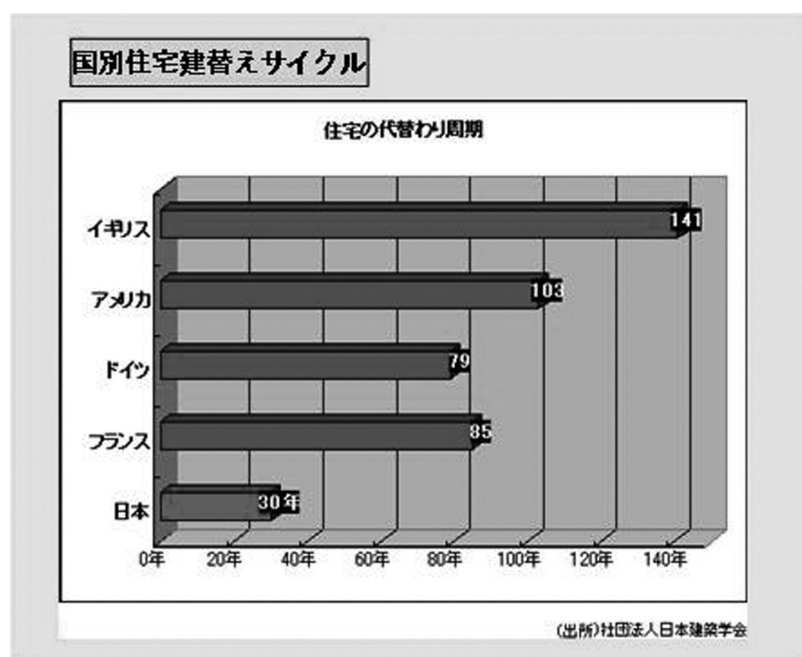
大和綾瀬支部 高橋 国彦

木造住宅における耐震改修の緊急の目的は近い将来に発生が予想されている巨大地震による被害を軽減することにある。

我が国の住宅の建て替えの周期は約30年程度で欧米諸国より短いサイクルでスクラップ&ビルドが繰り返されて来た。その理由の一つに上げられこととして、戦後の復興期には大量に狭い住宅が供給されたが、その後の経済成長と共に生活は豊かになり、より広い住宅を求めて建て替えが促進されて来たことにある。建築工法や、使用材料の差もあるが、日本以外の主な国での住宅の建て替えサイクルで一番短いのはドイツで79年、アメリカにおいては103年、最も長いとされているイギリスでは141年でそれぞれ日本の2.63倍、3.43倍、4.7倍となり、格段に住宅の寿命は長い。

現在、既に住宅戸数は約700万戸近くが余ってきている。将来人口が減少し、少子高齢化が進むと経済規模も縮小され、結果としてはますます住宅が余ってくることになる。

生活基本法の制定により住宅政策は今までの新築中心から既存建物を良質な社会資本として再生するストック中心に移行し、支援法の整備もなされつつある中で、既存木造住宅の耐震補強の推進が我が地震国にとって急務の課題となっている。



今後は既存木造住宅耐震性能と共に現在のライフスタイルにマッチした居住性能を高めた中古住宅が評価され、取引出来るような市場を整備して行くことが必要となる。

ある著名なシンクタンクのエコノミストの調査では、我が国の住宅サイクルの短さから生じる建て替えの経済的損失は約600兆円にもなるとの試算報告も上げられている。

少なくとも、木造住宅は欧米並みに現在の寿命の3倍の90年に延びれば、居住者の住宅ローンの負担も軽くなり、所得の使い道にも余裕が生じるのではないだろうか。

既存木造住宅を、良質な社会資本として蓄積して行くことは、地域の街並みと文化の継承を図ると共に、CO2を削減し循環型社会の形成を図ることにもなり、地球環境の保全に寄与することになると考えられる。

シリーズ グローバリゼーションの世界をめざして

平成 22 年度 神奈川バリアフリーコンテスト優秀賞を受賞された

高住研キヨタ(株) 畠山正広さんに聞きました。

横浜支部 後藤 かをり

世にバリアフリーリフォームを掲げる工事店は数多ありますが、なかでも障害者のための住宅改修は、その専門性と当事者からの確に要望を引き出し最小限の工事で実現させるという高度な知識と経験を要求される社会的貢献度の高い仕事です。

畠山さんが受賞されたこの工事の依頼者は交通事故で寝たきりになってしまった45歳の男性です。一人で出来る事は話す事と左手を動かす事のみで、12人のヘルパーに支えられ、マンションで一人暮らしをされています。

事故の後遺症でわずかな振動でも激痛が走ってしまう身体で、電動椅子かヘルパーに担がれてトイレへ移動していました。この方の希望は、トイレの床を下げたい、トイレ廻りの壁を撤去し車椅子で便器に横付け出来るようにしたいとの事でした。

難しい身体機能と制約の多い住まいと依頼者の将来まで見据えた改修プランを導き出すまでの打合せ時間は100時間を超えました。改修の最大ポイントは、水洗式ポータブルトイレの導入でした。可能な限り壁を撤去しキャスター付

介護ベッドで直接便器に横付けすることになりました。このプランの目的は、依頼者の負担を最小限にする事です。併せてかかりつけ医師や理学療法士・作業療法士、役所ケースワーカー、ホームヘルパーの方達の意見を大切にしてプランが完成しました。

工事が完成後、『今まで狭い空間に閉じ込められ、激痛に苦しみながらトイレへ行っていた生活が嘘のようです。まるで夢を見ているようで本当に幸せです。』と喜ばれたそうです。神奈川バリアフリーコンテストの話をしたところ、『是非応募して、みんなに見てもらいたい』との事でした。その結果、最高位の優秀賞を受賞する事が出来ました。

畠山さんは、『どこまでもお客様の言葉に耳を傾け、関係者の方との密なる連携が受賞の要因になっていると感じます。これまで延1200人の高齢者や障害者の方々を担当させて頂きました。これからもお客様の笑顔のために日々勉強し、力を磨いて行きたい』と力強く語ってくれました。



トイレ前写真



トイレ内部写真

第12回(社)神奈川県建築士事務所協会 委員長会報告

開催日時：平成23年1月13日(木)

会 場：神奈川県建築士事務所協会 会議室

出席者数：17名

(会長・副会長・専務理事・各常設委員長・特別委員長・総財務副委員長・事務局長・事務局員)

議題：総財務委員会より提示された平成23年度予算案について

先般、各委員会より提出された予算要求案

を基に総財務委員会にて精査を行い、予算要求修正案を作成。それを基に再度意見交換がなされた。

各委員会においては再修正案を1月25日までに再度事務局まで提出のこと。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

ブロック支部委員会

委員長 白井 勇

ブロック支部委員会の昨年の活動は、会員増強月間を9月から11月として各ブロック及び支部に進めていただき、会員数も790名までになりました。目標までには至っていない現状もあり今年も引き続き協力していただきたいと思います。また、スポーツ大会（湘南）、キャンペーン（県西）も予定通り開催していただきまし

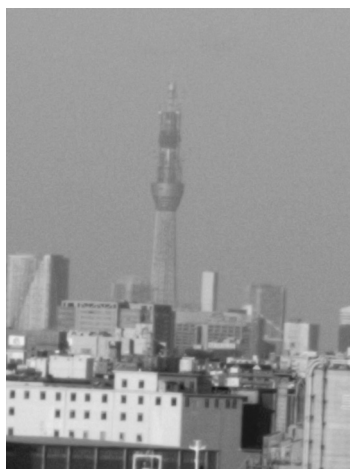
た。それぞれのブロックの開催の方には大変ご苦勞をお掛けしました。新年度は会員増強を会全体での取組みを考えていますし、セカンドオピニオン運営特別委員会の立ち上げにもブロック支部の立場で、会の新しい方向に助力したいと思います。改めてブロック及び支部の皆様の御協力を宜しくお願い致します。

12

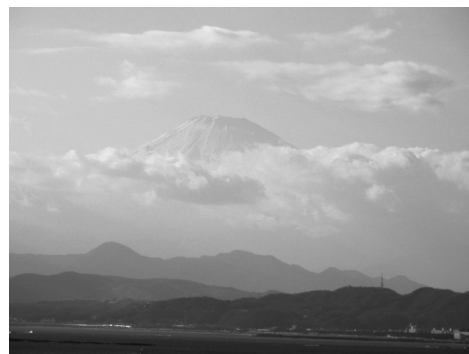
Town View



スカイツリー
(撮影日1月2日)



横浜山下町から見たスカイツリー
(撮影日1月7日)



江ノ島から望む富士山
(撮影日1月10日)

広報情報委員会発 NEWS

2009年5月号に当委員会発として掲載した、真鶴の別荘新築工事に対して、山側の別荘所有者が工事中止を求め20年（ヨ）第29号仮処分命令申立という裁判を起こし、平成21年4月6日その仮処分が認められた件を報じたことを覚えている方は多いと思います。

その後、建築主は設計変更をして横巾約43m

だった建物を約30mに縮めたプランが裁判所に認められ、平成22年12月7日に同じ横浜地裁小田原支部の裁判長により仮処分が却下されました。判決理由は、真鶴湾を見下ろすことはできないが、遠くに相模湾を見ることができるので、この程度の眺望阻害は受認限度内であるから仮処分を却下する。ということです。

? 旅のクイズ 第7回 ? ? ?

問題

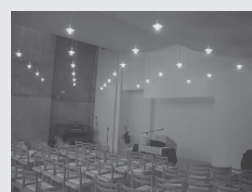
写真の教会名をあてて下さい。
ヒント：川崎市内の住宅街にあるプロテスタントの教会です。
昔、「新建築」にも載りました。イエスの母が馬小屋で産気づき、キリストはそこで生まれたといわれています。その馬小屋でキリストがベッド代わりに寝かせられたものが教会名になっています。



外部（RC部分）



外部（S造部分）



内部礼拝堂

答えはメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に3000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807 E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成23年2月18日（金）当選者は3月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

尚、前々回（12月号）と前回（1月号）の正解と当選者は下記の通りです。

・第5回（12月号掲載）：応募総数5件中正解5件

正解：隅田川・清洲橋

当選者：秦野支部

柳川一級建築士事務所 柳川満 様

・第6回（1月号掲載）：応募総数6件中正解5件

正解：江ノ島電鉄・極楽寺駅

当選者：賛助会

富士川建材工業(株) 北西豊光 様

多数のご応募ありがとうございました。

2月の行事予定

2月1日	広報情報委員会
	JW-CAD（初心者向け）研修会（会場：県立東部総合職業技術校）
2日	総財務委員会
3日	「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」必修研修会（会場：情文ホール）
4日	木造特別委員会主催「地盤について」勉強会（2日目）（会場：神事協会議室）
9日	JW-CAD（中級編）研修会（会場：県立東部総合職業技術校）
10日	理事会
14日	木造特別委員会主催「基礎・木軸組」勉強会（1日目）（会場：神事協会議室）
15日	木造特別委員会
	木造特別委員会主催「基礎・木軸組」勉強会（2日目）（会場：神事協会議室）
16日	ブロック支部委員会
	支部長合同ブロック支部委員会
17日	国産木材利用施設等の見学会（方面：東京大学・木材会館・合板博物館）
18日	JW-CAD（中級編）研修会（会場：県立東部総合職業技術校）
19日	「住・緑・家」第4号物件 竣工式会（会場：平塚市諏訪町会館）
22日	JW-CAD（中級編）研修会（会場：県立東部総合職業技術校）
23日	管理建築士講習（会場：パシフィコ横浜アネックスホール）
25日	技術調査委員会
	明治大学 菊池教授の学べる講習会「顧客が納得・満足する設計方法教えます!!」
26日	企画業務委員会
	第2回「建築見学会 in 鎌倉」
28日	JW-CAD（中級編）研修会（会場：県立東部総合職業技術校）

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(有)村岡設計事務所 〒245-0003 横浜市泉区岡津町2057-14 TEL.045-810-0338 FAX.045-392-8337	村岡 博之
大和綾瀬支部	
モロイキカク一級建築士事務所 〒242-0001 大和市下鶴間2560-14 TEL.046-277-1275 FAX.046-277-1059	諸井 健一
座間支部	
東亜レジン(株)一級建築士事務所 〒252-0002 座間市小松原2-13-14 TEL.046-251-1092 FAX.046-254-3563	石黒 康弘
退会	
横浜支部	
(株)プランニング・ジャパン 祢津建築構造設計室一級建築士事務所 高住研キヨタ(株)	御園 喜人 祢津 則行 畠山 正広
川崎支部	
(株)エム・アール・エム建築設計	近澤 英一
県西支部	
石渡建築事務所	石渡 守
変更	
横浜支部	
(有)佐藤建築事務所(保土ヶ谷) (会員名変更) 佐藤 真樹	
(株)アルコン一級建築士事務所(港北) (会員名変更) 渡邊 芳行	
(株)陽光都市開発一級建築士事務所(西) (会員名変更) 望月 英昭	
(株)つくし建設一級建築士事務所(磯子・金沢) (所属地区) 磯子・金沢→中 (所在地) 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-6	
川崎支部	
イトウ建築設計事務所(多摩) (FAX変更) FAX.044-933-3243	
県西支部	
協和住宅(株) (会員名変更) 山室 智由	
泰東興業(株) (会員名変更) 小澤 良央	
休会	
湘南三浦支部	
HIRO設計室 [休会期間:平成23年1月1日~12月31日]	久居 ひろ子
賛助会員異動報告	
入会	
東日本電信電話(株)神奈川支店 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-7-3 横浜メディアタワー TEL.045-752-8070 FAX.045-338-3916 【代表者】市川 泰吾 【担当】松場 重暁 【業種】電気通信事業等	

会 勢		平成23年1月13日現在				
支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	270	273	14	11	3	
川 崎	94	91	3	6	-3	
横 須 賀	57	55	0	2	-2	
湘南三浦	22	21	0	1	-1	
藤 沢	21	21	1	1	0	
鎌 倉	31	32	1	0	1	
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0	
平 塚	21	21	1	1	0	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
秦 野	17	18	1	0	1	
大和綾瀬	22	22	2	2	0	
厚 木	36	37	2	1	1	
座 間	11	13	3	1	2	
海 老 名	14	13	0	1	-1	
愛 川	8	9	1	0	1	
相 模 原	87	89	4	2	2	
県 西	51	49	2	4	-2	
合 計	786	788	35	33	2	
賛助会員	65	72	8	1	7	

編集後記

年が明け、2011年の建築活動はおだやかで静かな中、さまざまな取り組みが始まっています。

日頃の建築士の活動状況を見ると、この世界にさまざまな特殊化が進み若い人々が参入しづらいように思われます。

この世界に魅力を感じられないのでしょうか。さまざまな参入の取り組みもありますが、経験を要するため短期間で答えが出ません。最近の話題では、さまざまな勉強中の学生の取り組みのテーマとして、省エネ住宅を考えさせることがおこなわれています。環境工学等の専門分野以外のアプローチから、さまざまな提案考えが多く提案され、われわれの発想からは考えられない、若いひとたちの省エネ住宅の考えがあることが解って、おおいに参考になります。身近な取り組みから発展して大きな建物へとつながるという、ユニークな考えもありそうです。

われわれの日々の活動も仕事を単にこなすのみではなく、多くの参加者に支えられていると思うと、単純発想の若い人々の考えも大いに参考になります。

以上のような現在の建築士の現在の事情を考えると、今後若い人々の参加がふえることにより活性化が進み、層がひろがることにより今後の建築畑の発展に繋がるのではないかと、ひそかに新年の夢と抱負を抱いている考え方に未来をかさねる想いです。

(平塚支部 新倉良一)

14

かながわ 平成23年2月号(通号352号)

定価420円(消費税込)

発行 平成23年2月1日(毎月1日発行)
 発行人 上原 伸一
 発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
 第3不二ビル2F
 TEL. 045-228-0755
 FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

・担当副会長 小林 忠志
 ・広報情報委員長 佐藤 光良
 ・広報情報副委員長 吉田 宣郎
 ・広報情報委員 稲葉 勉
 ・ 恩田 耕爾
 ・ 後藤かをり
 ・ 竹尾 秀一
 ・ 野口 友弘
 川島 良夫
 遠藤 世一
 小泉 厚
 杉崎 雅治
 新倉 良一

外壁改修は三層浮が基本

石, タイル, モルタル浮きの確実な施工を推進します。

多層空隙注入ノズル
FSノズル(特許)



FST工法

特 徴

- 低騒音, 低振動, 無粉塵
- どのような外壁の剥離層にも確実に樹脂注入が可能
- 確実な外壁固定が可能
- 穿孔時の共浮き, 樹脂注入時の共浮きなし
- 施工の仕上がりが非常にきれいである
- 一般ピンニング工法の1/2の施工工程である

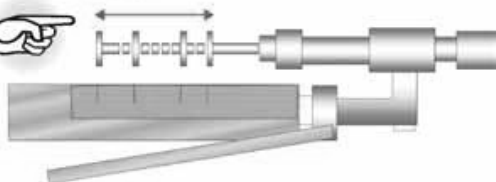
※施工には, 技能講習が必要

樹脂注入試験後の状況



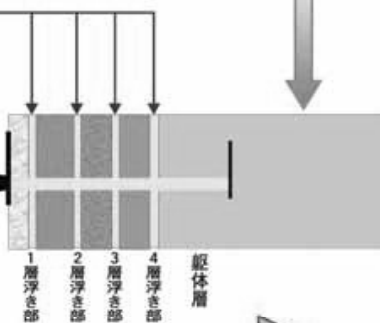
0.1mmの空隙から
何層でも樹脂注入が可能です。

注入点が, 任意の箇所に設定可能な為,
何層もの浮き層の現場でも注入が可能!!



振動ドリルを用いた一般工法では, 空隙0.5~0.6mmでも
注入不良が発生し, もし樹脂注入がされたとしても,
モルタル底部は過剰な注入圧で破壊されてしまいます。

4層浮き箇所の 展開図



注入工法の最終回答は **FST工法**

FSテクニカル株式会社

〒125-0054 東京都葛飾区高砂1丁目22番地15号 TEL:03-5671-3134 FAX:03-5671-3090

<http://www.fs-tec.co.jp>

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

- ◆ 賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>
(「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます)
本会の先生方限定のお得な情報(会員様限定の割引価格などなど)をHPに掲載(掲載費無料)

◆ 会報『KANAGAWA』原稿

こちらのページを新商品, 新工法, また企業のPRにご活用ください!! (掲載費無料)

お問い合わせは…担当: 広報委員 西村真一 (三洋工業株式会社)

TEL: 03-3685-3452 Mail: shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp